



光れ！ けやきッス

令和4年度 第5号 9月16日 発行者 引地 健二

※ HPではカラーでご覧になれます。

授業が再スタート！ リズムも戻ってきました！



夏休みが明け、学校に子供たちの明るい笑顔と元気な歓声が戻ってきました。今年度は、感染症は拡大していたものの特に制限のない夏休みで、昨年よりは様々な活動ができて充実した休みになったのではないかと思います。夏休み中、保護者や地域の皆様が子供たちの生活を見守ってくださったおかげで、大きな事故やけがもなく無事に過ごすことができたことに心から感謝いたします。



〈地域学校園で育てたヒマワリ〉

授業が再スタートし、子供たちは早くも学校の生活リズムを取り戻し、けじめを付けながら、休み前と同じように友達と学び合ったり、元気に遊んだりしています。当たり前のことを当たり前にするには、簡単そうで実は難しいことです。子供たちの順応する力に感心しています。休み明けは、修学旅行や運動会、冒険活動教室など行事も数多く実施されます。実りの秋になるよう、教職員一同力を合わせて取り組んでまいります。

最近の横西小～ウィズコロナの中での学校行事～

◆ 避難訓練（不審者対応） 9月9日（金）

宇都宮南警察署のスクールサポーター高島様に来校していただき、不審者が校舎内に侵入したという想定で避難訓練を実施しました。教室にバリケードをつくって入れないようにするとともに、不審者から見えないような避難の仕方を学びました。また、教職員も不審者にどう対応するかを学びました。安心・安全な学校づくりにつなげていきたいと思ひます。



◆ 演劇鑑賞教室 9月13日（火）

劇団「らくりん座」による演劇鑑賞教室を実施しました。公演作品は絵本でおなじみの「あらしのよるに」。ヤギとオオカミの友情を描いた作品ですが、間近で迫力ある演劇を見ることができ、子供たちにとって心に残るすばらしい体験になったのではないかと思います。感染症対策として、3回公演という形をとり、密にならないように実施しました。劇団の皆様には心から感謝です。



■新しい連絡ツール「さくら連絡網」の導入について

過日、通知と利用同意書を配付させていただきましたが、学校の働き方改革の推進や学校の利便性の向上を目的として、新たな連絡ツール「さくら連絡網」が宇都宮市の小中学校全体で10月1日（土）より導入されます。新ツール導入の趣旨をご理解の上、ご協力をお願いいたします。主な機能としては、
○欠席・遅刻・早退等の連絡（これまでより簡単になります。また、時間外の受付も可能になります。）
○学校等からのメッセージ配信（教育委員会から直接配信される場合もあります。）
○学校からの資料配付（通知や案内文書、各種たより、献立表、下校予定表等がデジタル配信されます。それにより、出先でも予定表や献立表を確認することができます。）
○保護者向けアンケート活用（保護者の方の行事への出欠報告や体調確認がスマートフォン等でできます。）
などが挙げられます。今後、「さくら連絡網」をできるだけ有効活用し、保護者の皆様にも教職員にも負担減になるようにしていきたいと考えておりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。ただし、運用していく中で課題が出てきた場合には、活用方法を変更するという事もあるかもしれません。その点につきましてはご了承ください。
※スマートフォンだけでなく、携帯電話（フィーチャーフォン）にも確実に届くシステムになっています。



感染症対策のため、体育館には集まらず、放送とパソコンのスライドを活用して実施しました。

♠ 夏休み明けの朝会での話（要旨） ♠

今回は、新型コロナウイルス感染症の拡大もありましたが、特に制限のない夏休みだったので、去年よりはいろいろな活動ができた人が多かったのではないかと思います。何よりも私は、一人一人が健康に生活してくれることが一番の願いだったので、みんなの登校の様子を見て、とても安心しました。ただ、今回広がっている新型コロナウイルスのBA.5は、子供も感染する例が出ていますので、これまで以上に気を付けてほしいと思います。

9月は1学期のまとめの時期です。みなさん一人一人がしっかりと目標をもち、努力を惜みず、充実した1学期の締めくくりができるように一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。

さて、再スタートに当たって、今日は、ある人の言葉について話をします。この人たちを知っていますか。実はお笑い芸人です。特にこの右側の人、高岸さんは、お笑い芸人をやりながら、栃木県のプロ野球チーム「栃木ゴールデンブレーブス」に入団しました。他の仕事をしながら野球選手もこなすということは、なかなかできることではありません。この高岸さんがよく言う言葉が「やればできる」です。高岸さんは、「この言葉はとても大切で、この言葉があったから、今までがんばってこれました。」と言っています。「やればできる」という言葉を聞いて、みなさんはどう思いましたか？私はこう思いました。『『やればできる』って、何かに成功した人が言う言葉で、上からの目線の言葉じゃないか。『もっとがんばれ、あなたはもっとできる、手を抜くな！』って言っているようだ。がんばってもできないこともあるのでは。』しかし、その後、高岸さんはこんな言葉を続けました。「でもね、『やればできる』は、成功を目指すことではないんです。私は、がんばっても失敗ばかりで、やってもできないことばかり。でも、ずっと挑戦してきました。何に対しても挑戦したら、失敗しても必ず自分が成長します。『やればできる』とは、成功することではなく成長を目指す言葉なのです。挑戦することに価値があるのです。」

この言葉を聞いて、私は考え直しました。「やればできる」とは、「やれば成長できる」ということだと思います。成功が大切なのではなく、挑戦することが大切なのです。失敗してもいい。失敗しても挑戦を続けていくことで絶対成長できる。そういうことだったのだと思います。

みなさんも、いくらがんばってもできないことがあるでしょう。やってもできないこともあるかもしれません。でも、できなかつたってよいのです。失敗すること、できなかったことは、みなさんを必ず成長させます。夏休み明けにはたくさん行事があります。授業もたくさんあります。失敗をおそれずにいろいろなことに挑戦しましょう。間違いを恐れずに発言しましょう。挑戦して失敗することはとてもよいことです。だめなのは何も挑戦しないこと。夏休み明けのみなさんの挑戦におおいに期待したいと思います。



◆ 快適な環境の中で～体育館のエアコン完成！～

猛暑の際、児童及び教職員の健康を守るとともに、学習意欲や集中力を低下させることなく学べる教育環境を確保することを目的に、体育館内にエアコン8基設置されました。9月1日から使用しています。WBGT（暑さ指数）25℃以上が稼働の目安となりますが、子供たちの熱中症予防のため、有効活用していきたいと思います。なお、避難所になった場合や社会体育等での施設開放など、教育活動以外の時間も使用することができます。



🏀 「いちご一会とちぎ国体」を応援します！！

42年ぶりに栃木県で開催される国民体育大会。9月には会期前実施競技がスタートし、10月1日（土）に本大会が開幕します。地元開催ということで、本校でも全国から訪れる方々をおもてなしするための花をプランターで育てているところです。プランターに応援メッセージを書いたシールを貼った後で、競技会場等に設置し、大会を盛り上げます。

また、6年生は、10月4日（火）に日環アリーナ栃木メインアリーナで行われるバスケットボール（少年女子準々決勝）の見学・応援（スティックバルーンを持ち、声を出さずに応援）を予定しています。トップアスリートの競技を直接見ることで、スポーツへの興味・関心を高めたり、夢や希望をもつきっかけになったりすることを願っています。



社会総ぐるみによる人づくりの『合言葉』

「育もう 地域の愛で 子どもの未来」

～大人が子どもの手本となり、みんなで人間力を高めます～ 宇都宮市・宇都宮市教育委員会